

「サポートファイル」をご活用ください

「サポートファイル」は、発達障害などにより「だれかの支援がほしい」と思われたときに、保護者や本人が、関係機関に相談される際、これまでの成長過程や生活環境等の情報を支援者と共有するためのものです。このたび、東近江圏域（2市3町）が共同で作成しました。

このファイルは、本人の成長の様子や関係機関等について、「支援のために知ってほしい情報」を自ら書き込んでいただくもので、その内容を教育・保健・福祉機関の支援者が見せていただき、今後の支援を一緒に考えていきます。

今後、教育・保健・福祉でご相談をされる際、ファイルの利用についてご紹介させていただきます。予定です。

このファイルについての、利用のご希望やご質問がある方は次の機関にお申し出ください。



◆問い合わせ先	日野町子育て・教育相談センター	☎⑤3838	有線⑤1176
	日野町教育委員会事務局	☎⑤26564	有線⑤5954
	日野町保健センター	☎⑤26574	有線⑤7777
	日野町福祉課福祉担当	☎⑤26573	有線⑤7772

●児童手当の届け出について●

受給者の方が公務員になられたときは、日野町役場への届け出が必要です。

サラリーマンや自営業の方の児童手当は、日野町から支給されますが、公務員の場合は、勤務先から支給されることとなります。新たに公務員になられた受給者の方は、日野町へ「受給事由消滅届」を提出するとともに、勤務先で「認定請求書」の提出が必要となりますのでご注意ください。

◆問い合わせ先 福祉課 福祉担当 ☎⑤26573 有線⑤7772

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

今年も桜の花が咲きました。厳しい寒い冬のあとには必ず暖かい春がやってきます。不況と雇用不安が深刻化していますが、こうした社会を

根本から変革し温かい社会の実現へ踏み出す年度としたいものです。

日野町では、春の訪れとともにうれしい知らせがありました。日野町大窪の伊藤みきさんがスキ

ーのモーグル競技で来年のバンクーバー冬季オリンピックに出場される

ことが内定しました。3年前のトリノオリンピック出場時も町を

挙げて応援し見事に決勝進出をされました。伊藤選手も「応援の横

断幕がスタート地点から見えました。町民の皆さんの応援が心強か

った」と言ってくれました。伊藤さんの成長された姿は頼もしく、

インタビューに答える笑顔は素直で謙虚で「伊藤さんは日野町の人

なんやで」と胸を張りたくありません。みんなで応援し頑張っ

て欲しいと思います。

さて、オリンピックはスポーツ

の祭典であるとともに平和の祭典でもあります。今回の「不況」は1929年（昭和4年）の世界恐慌以来ともいわれています。当時、日本も深刻な状況に陥り、その後、昭和6年「満州事変」が軍部の謀略によって勃発。昭和20年終戦まで戦争がつづきました。戦争によって昭和15年の第12回オリンピック東京大会、昭和19年の第13回ロンドン大会は中止となりました。不況や社会不安の深刻化が戦争につながった歴史を繰り返してはなりません。

幸い日本は、戦後60余年間「戦争をしない国」として歩んできました。その根本に平和憲法があり憲法9条があります。昨年ノーベル賞を受賞された益川教授は、ユニークでユーモアがあり人気者ですが、益川教授自身も呼びかけ人である「九条科学者の会」の講演会で空襲の経験などを語り「子にも孫にもあんな思いはさせたくない」と目を熱くし、「憲法9条を守り行動したい」と話されています。平和な社会であってこそオリンピックが開催でき、温かい社会であってこそ心からの応援が出来るのではないかと思います。